

フエ市訪問行程・メンバー

1.行程

月日	時間	行事等
7月9日 (月)	4:30	高山市役所出発(貸切バス)→中部国際空港へ
	10:15	中部国際空港発→13:50ハノイ空港着
	15:00～16:30	農業研修生派遣機関訪問・意見交換
	19:00～20:30	十六銀行ハノイ駐在員事務所開設記念レセプション (ハノイ市内ホテル)
		<ハノイ市内泊>
7月10日 (火)	8:40	ハノイ空港発→10:15フエ空港着
	10:30～14:30	フエ市内視察(グエン朝王宮、ティエンムー寺)
	15:00～15:30	フエ・高山 両市長会談(フエ市役所)
	15:45～16:30	友好協力関係に関する覚書締結式(フエ市役所)
	16:30～17:30	覚書締結記念セミナー(フエ市役所) 一日越地方経済圏のビジネスチャンス拡大に向けて
	18:00～19:30	覚書締結記念レセプション(フエ市内レストラン)
	<フエ市内泊>	
7月11日 (水)	10:30	フエ空港発→11:45ハノイ空港着
	13:30～14:30	JNTOハノイ事務所訪問・意見交換
	14:45～17:00	ハノイ市内視察(ホーチミン廟、旧市街など)
7月12日 (木)	0:25	ハノイ空港発→6:55中部国際空港着
	8:00	中部国際空港発(貸切バス)→11:00高山市役所着

2.メンバー

- 高山市 4人(西倉副市長など)
- 高山商工会議所 1人
- 飛騨・高山観光コンベンション協会 1人
- 奥飛騨温泉郷観光協会 1人
- 飛騨農業協同組合 2人
- 高山市文化協会 1人
- 関係企業・団体 4人

ベトナム訪問報告書

◆ 7月9日（月）

3:00 市役所発、8:10 セントレア着。（貸切バス）

※不通区間有り。高根→木曾福島→中津川→中部空港

10:15 セントレア発、13:10 ハノイ空港着。

貸切バスにてトラムへ移動（トラム社の車が先導）。道路事情等により 20 分程遅れて到着。

○15:20~16:35 トラム教育センター

- ・到着時に生徒による盛大な出迎えを受けた後、教育センター内の研修室に通された。
- ・トラム社の水野副社長の進行により、ビバサン社の渡邊副社長、トラム社のアン社長の挨拶の後、トラム社の会社概要説明の後、研修施設内（宿舎、授業風景等）を視察した。
- ・その後、元実習生 5 人と意見交換を行った。研修生は、約半年間、住み込みで共同生活をしながら日本語や日本の習慣などを学んでいる。しかしながら、日本で言葉や習慣を学んだ人は、ベトナムに帰国後、賃金が高い小売店舗や製造業などで重宝されるため、賃金が低い農業に従事する人は非常に少ないとのこと。

※翌日、フエ市で意見交換をした際、フエ省の経済部長からは「農業も改革が必要で、その余地は十分にある。日本から投資して欲しい」旨の発言あり。

○19:00~20:30 十六銀行レセプション

- ・開会前、村瀬頭取、池田副頭取（元高山支店長）、秋葉常務、高橋常務などに挨拶。記念品の絵馬を贈呈した。梅田大使や BIVD の副頭取にも挨拶した。
- ・レセプションは、最初に映像放映の後、村瀬頭取の挨拶で始まった。冒頭、西日本を襲った大雨災害により被災された方々へのお見舞いの言葉あり。高山市に対しても、大雨の影響で市長が来られなくなり、代理で副市長が出席されたことに感謝の意を表された。
- ・梅田大使からも被災者へのお見舞いの言葉あり。十六銀行の事務所開設により両国が発展することを期待する旨の発言あり。
- ・西倉副市長を含む関係者が登壇し、鏡開き（樽割）。続いて、西倉副市長が乾杯の発声を行って宴が始まった。
- ・会場内では、JETRO ハノイ事務所長や多くの日本の企業の方々とも懇談した。

◆ 7月10日（火）

6:20 ホテル発、ハノイ空港へ移動。9:20 ハノイ空港発（30分遅れ）、10:20 フェ空港着。

フェ市国際協力センターのバン氏と合流。バン氏の案内にもとフェ市内の観光文化施設へ向かった。

○11:00～12:30 フェ市内視察

- ・電動カートも使いながらグエン朝王宮やティエンムー寺を視察。世界遺産である建物の保存、ベトナムの歴史などについて説明を受ける。

○15:00～15:30 市長との会談

- ・麻妻公使立ち会いのもと、交流内容（覚書に沿ったもの）を確認するとともに、高山市訪問団員、フェ市の同席者を紹介。北村会頭が訪問団を代表して、「行政のみならず、市民や企業の交流も積極的に進めていきたい」と発言。

○15:45～16:30 覚書締結式

- ・タン委員長、西倉副市長、麻妻公使からそれぞれ挨拶があった後、書名した覚書を手に取り写真撮影、続いて記念品の交換を行った（フェ市から置物、高山市から一位一刀彫の高砂、飛騨春慶額に入った絵馬を相互に贈呈）。
- ・両市が主に5つの分野で交流し、ともに発展すること、また、両国の発展に貢献することを確認した。 ※別紙参照（7月11日発表資料）

○16:30～17:30 経済セミナー

- ・フェ省経済部長の挨拶とベトナムの参会者の紹介、および十六銀行村瀬頭取の挨拶と日本経済界の方々の紹介が行われた後、フェ省経済部長より、フェ省の経済情勢や企業進出のためのインフラの状況（フェ省への投資の呼び掛け）などについて説明を受ける。
- ・駒屋組合長の「ベトナムの農業をさらに発展させるための施策は？」との質問に対し、「農業は発展の余地が十分にあるので、日本からの投資などに期待したい」との意見があった。

○18:00～19:40 締結記念レセプション

- ・タン委員長の挨拶と乾杯発声の後、西倉副市長から挨拶があり、その後、フェ市の宮廷音楽の生演奏を聴きながら懇談。
- ・西倉副市長は、フェ市幹部はもとよりすべてのテーブルを回り、ベトナムの方々や日本の経済界の方々に挨拶をした。
- ・タン委員長は西倉副市長との懇談を希望し、今後の交流について語りあった。

◆ 7月11日（水）

9:00 ホテル発、フエ空港へ移動。

10:30 フエ空港発、11:45 ハノイ空港着。

○13:10～14:15 日本政府観光局（JNTO）ハノイ事務所訪問・面談

- ・高橋歩所長によるベトナム人の訪日旅行の動向の説明を受けた。別添資料参照。
- ・訪日旅行の代金が数年前と比べてかなり安価になったこと、ベトナムからの訪日外客数のうち観光客の割合が増加傾向にあるのと、観光客数の伸び率が高いことなどから、今後も増加が見込まれる市場であるため、航空路線の確保とともに広域的な誘客 PR（情報発信も）を行うと良い。JNTO でも当地域と連携して、昇龍道や冬の高山を紹介している。

○14:30～18:00 ハノイ市内視察

- ・貸切バスの社内からホーチミン廟の外観を視察した後、ホアンキエム湖の北部に広がる「旧市街」を視察。食品、衣料品など多様な商店が並んでいる。オートバイを歩道に停めているため非常に歩きにくいのに加え、車道の交通量が多いため道路を横断するだけでも身の危険を感じた。
- ・その後、伝統的な水上人形劇を見学し、ハノイ空港へ移動した。

◆ 7月12日（木）

0:25 ハノイ空港発、6:55 セントレア着。

7:30 セントレア発、11:00 高山市役所着（貸切バス）、解散。

ベトナム・フエ市との友好協力関係に関する覚書の締結について

7月10日午後4時（日本時間午後6時）頃、ベトナム訪問中の西倉副市長は、高山商工会議所の北村会頭ら訪問団一行（計14名）とともに、フエ市役所において行われた両市の友好協力関係に関する覚書締結式に臨みました。

※当初、國島市長が訪問する予定でしたが、豪雨災害への対応のため、急きょ西倉副市長が代理で訪問しました。

なお、今回の締結式は、高山市長が署名した覚書（書面）をフエ市へ携行し、締結式において、フエ市のグエン・バン・タン人民委員会委員長（市長）が、その覚書に署名する形式としました。

締結式には、覚書に署名したタン委員長を始め、フィン・クー共産党委員長などフエ市やフエ省の幹部のほか、在ベトナム日本国大使館の麻妻信一公使、日本とベトナムの経済界の皆様など、およそ150名の方々にご参加いただき、盛大に行われました。

この覚書の締結により、両市は、主に観光・文化・教育・貿易・農業の分野において、実践的な交流を進めていくこととなりました。

締結式において、西倉副市長は、「厚い友情に裏付けられた協力関係を基本としながら、行政機関はもとより、市民レベルで交流を深め、両市が将来に亘ってともに発展していけるよう全力を尽くしたい」と挨拶しました。

また、タン委員長は、「このたびの大雨被害に対して、心よりお見舞い申し上げます。今回の覚書締結により、文化や観光など様々な分野の交流の推進に期待するとともに、両地域および両国の発展に大いに貢献するものと考えている。今後も末永く、市民とともに友好交流を続けていきたい」と語りました。

今回の覚書締結は、平成28年5月、高山市長が岐阜県知事とともにハノイを訪問し、文化スポーツ観光大臣と面談した際、フエ省出身のグエン・コック・ティエン大臣より、伝統文化が残っている高山市とフエ市との交流について提案いただいたことがきっかけとなり、それ以降、フエ市のチャウ・ヴァン・ロック副委員長（副市長）と高山市の西倉副市長が相互に訪問し、両市の様々な分野での交流について協議を重ね、市議会や関係団体の理解を得て今回の覚書締結に至りました。

なお、覚書締結式の後、日本とベトナムの経済界の皆様によるセミナー（テーマ：日越地方経済圏のビジネスチャンス拡大に向けて）が開催され、十六銀行をはじめ両国の経済関係者など約90名が相互の地域経済発展のための意見交換を行いました。

また、訪問団一行は、締結の前日（9日）には、平成26年より高山市内の農家へ研修生を派遣している会社（TRAUM(株)・トラム(株)）を訪問し、幹部や元実習生などと意見交換を行いました。11日には、JNTO（日本政府観光局）ハノイ事務所を訪問し、訪日市場の動向などについて意見交換を行う予定です。

高山市とフエ市との友好協力関係に関する覚書

日本国とベトナム社会主義共和国の協力関係を深めるため高山市とフエ市（以下「両者」と記す）は両者の友好を促進し相互理解を深めることに同意する。

両者は、相互に利益をもたらす関係を積極的に推進し、両地域の特色を尊重し、観光や文化など次に掲げる分野において協力することとする。

1. 観光振興に関する取り組み
 - ・文化資産を活用した観光振興に関する意見交換
 - ・観光客誘致のための相互協力
 - ・関係者の相互訪問
2. 文化資産の保存・継承に関する取り組み
 - ・有形・無形文化財の保存・継承、景観の保全に関する意見交換
 - ・関係者の相互訪問
3. 教育に関する取り組み
 - ・教育機関、青少年の交流支援
 - ・郷土教育の推進
4. 貿易に関する取り組み
 - ・地元特産品の販売促進
 - ・企業による経済交流
5. 農業振興に関する取り組み
 - ・農業振興に関する意見交換
 - ・関係者の相互訪問

この覚書は、日本語とベトナム語で各2通作成、全ての文言が真正で締結日から効力を発する。2018年7月10日にフエ市において締結する。

日本国
岐阜県 高山市
市長 國島 芳明

ベトナム社会主義共和国
トゥア ティエン フエ省 フエ市
人民委員会委員長 グエン バン タン

ベトナム訪問団写真

7月9日（月）



農業研修生教育センター（歓迎）



農業研修生教育センター（副市長挨拶）



元実習生との意見交換



十六銀行村瀬頭取への記念品贈呈



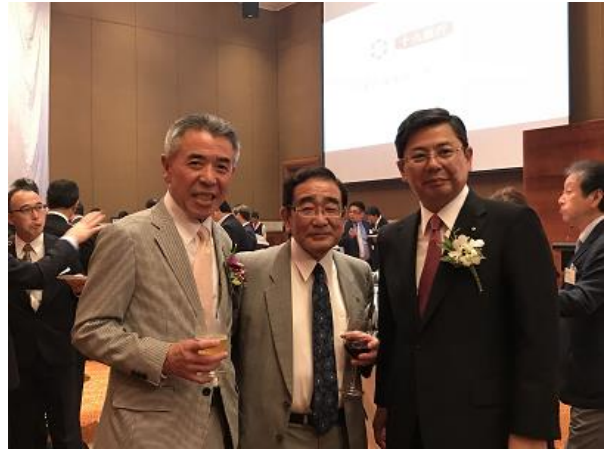
十六銀行レセプション（鏡開き）



十六銀行レセプション（副市長乾杯挨拶）



十六銀行レセプション（開会時）



十六銀行レセプション

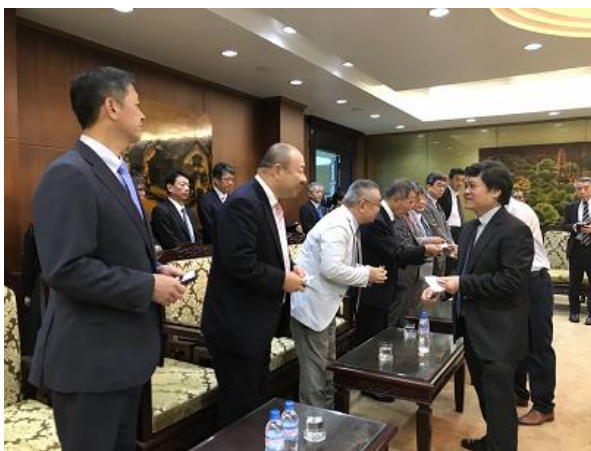
7月10日（火）



グエン朝王宮



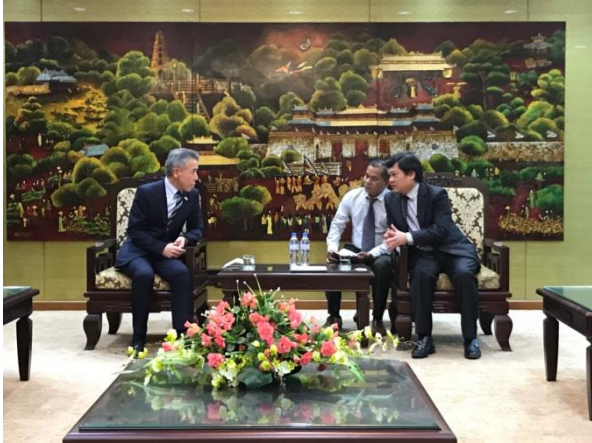
ティエンムー寺



フエ市長との会談



フエ市長との会談



フエ市長との会談



フエ市長との会談



友好協力協定覚書締結式



友好協力協定覚書締結式（タン委員長挨拶）



友好協力協定覚書締結式（西倉副市長挨拶）



友好協力協定覚書締結式（覚書締結）



記念品交換（フエ市から置物）



記念品交換（高山市から一刀彫の高砂）



記念品交換（高山市から春慶・絵馬）



覚書締結記念セミナー



覚書締結記念セミナー



覚書締結記念セミナー



締結記念レセプション（タン委員長挨拶・乾杯）



締結記念レセプション（西倉副市長挨拶）



締結記念レセプション



締結記念レセプション



締結記念レセプション



レセプション（フエ市文化部長に図録贈呈）



締結記念レセプション



締結記念レセプション

7月11日(水)



JNTO ハノイ事務所訪問



JNTO ハノイ事務所訪問



ハノイ市内「旧市街」視察



水上人形劇視察